

日本めんだけでなく菓子等にも使える 小麦新品種「ちくごまる」

目的と特徴

- ・農林61号、シロガネコムに替わる品質と栽培性に優れた新品種育成の強く望まれております。
- ・暖地で問題となるコムギ縞萎縮病Ⅰ型、穂発芽、赤かび病に対して抵抗性を強化し、安定した収穫ができる九州地域に適した高品質な小麦新品種「ちくごまる」を育成しました。
- ・実需者に評価を行ってもらうため、試作が始まっています。



早生で穂発芽や赤かび病、倒伏に強い「ちくごまる」(左)と「農林61号」(右)

表1 「ちくごまる」の栽培特性

品種名	秋播性 程度	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	耐倒 伏性	コムギ 縞萎縮病 Ⅰ型抵抗性	穂発芽 耐性	赤かび病 抵抗性	DON濃度 ppb	子実重 kg/a	対 標準 比率%	千粒重 g
ちくごまる	Ⅳ	4.08	5.28	85	強	強	強	やや強	4915	48.0	95	33.3
シロガネコムギ	Ⅱ	4.09	5.28	79	極強	強	やや易	中	6059	44.4	88	36.2
農林61号	Ⅱ	4.14	5.31	96	中	中	強	中	7266	50.3	100	33.4

注)表のデータは2004～2010年の7カ年平均値。ただし、DON(デオキシニバレノール)濃度は、人工接種による激発圃場試験における2007～2010年の4カ年平均値。

成果

「ちくごまる」は、次のような特徴がある品種です。

1. 秋播型という安定した生育をする特性を持ち、「シロガネコムギ」並の早生種です。
2. 穂は白く、「農林61号」より稈長は短く、穂長、穂数は同程度で、倒伏に強いです。
3. 収量は「シロガネコムギ」より多く、容積重、千粒重は同程度です。
4. コムギ縞萎縮病Ⅰ型、穂発芽、赤かび病に強い品種です。
5. 灰分がやや低く、製粉性と粉色に優れています。
6. 通常の施肥量水準では収量が上がりにくいので、施肥量は慣行より多めとします。

表2 「ちくごまる」の原粒および小麦粉の品質

品種名	原粒				原粒の60%歩留まりで調製した小麦粉				
	灰分含率 %	たんぱく質 含有率%	製粉歩留 %	ミリング スコア	灰分含率 %	アミロース 含有率%	明度 (L*値)	赤み (a*値)	黄色み (b*値)
ちくごまる	1.47	10.9	72.0	86.4	0.37	29.4	89.00	0.53	14.53
シロガネコムギ	1.47	10.7	70.3	82.2	0.43	30.2	88.91	0.53	14.70
農林61号	1.55	9.8	69.9	80.5	0.45	29.9	88.68	0.68	14.44

注)2004~2009年までの6カ年の平均値。

表3 「ちくごまる」の加工適性

品種名	日本めん(うどん)食味試験						スポンジケーキ焼成試験	
	外観 色 (20)	食感 かたさ (10)	食感 粘弾性 (25)	食感 滑らかさ (15)	食味 (15)	合計 (100)	体積 ml	比容積 ml/g
ちくごまる	14.9	7.3	18.6	11.6	10.9	74.6	1066	3.73
農林61号	13.9	7.0	17.9	10.8	10.5	70.3	1075	3.85
シロガネコムギ	14.7	7.2	18.3	11.1	10.7	73.0	1058	3.76
チクゴイズミ	14.5	7.0	18.8	11.9	11.0	74.2	1012	3.58

注)うどんの食味試験は2004-2009年の6カ年の平均値。スポンジケーキ焼成試験は2008年のみのデータ。



写真2 ゆで麺の写真
左:農林61号、右ちくごまる

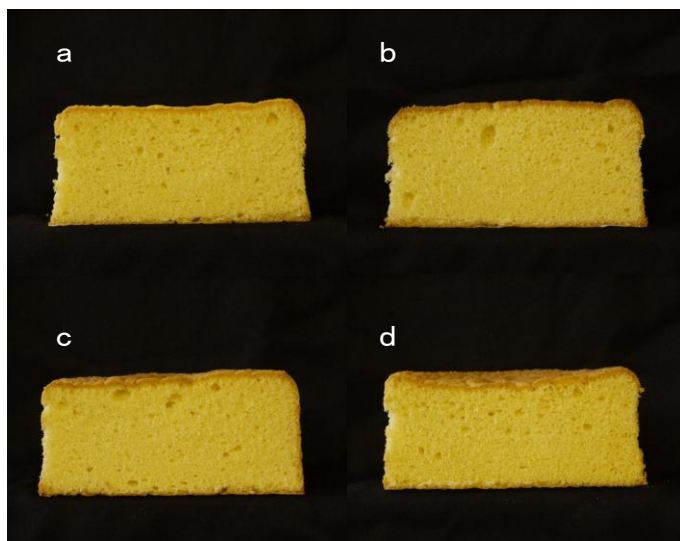


写真3 スポンジケーキ断面写真
a:ちくごまる、b:農林61号、c:シロガネコムギ、
d:チクゴイズミ

対象作物、普及対象

- ・小麦、温暖地以西の平坦地

対象農家

- ・小麦を栽培している農家

関連HP (プレスリリース)

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/O30969.html

その他